

## 清掃作業従事者研修カリキュラム例

### 1 カリキュラムの考え方

- (1) 7時間以上を確保する。
- (2) 科目ごとの講義時間は、研修内容により適切な時間を設定する。
- (3) 2年目以降のカリキュラムは、カリキュラム例から取捨選択し、設定する。

### 2 1年目カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具の種類と使用方法	器具の目的と機能 / 機器の目的と機能 / ごみ収集 / ほこりや汚れの取り方 / タオル、乾式モップ、ほうきの使い方 / 真空掃除機、床みがき機の使い方 / 洗浄の種類と目的 / 主な床の洗い方 必要に応じて実技訓練を行う。	180分
資材の種類と使用方法	洗剤、合成洗剤の組成 / 洗剤使用上の注意 / 洗剤と洗浄剤の環境への影響 / 床維持剤の組成、水性樹脂床維持剤の使い方 / 廃棄物処理の目的 / 廃棄物処理作業の流れ / 処理作業の要点と注意事項 / 廃棄物集積所の整理整頓	60分
安全及び衛生	清掃作業の労働災害 / 作業安全のための注意 / 第三者に対する配慮、労働衛生	60分
建築物の環境衛生行政	清掃の目的 / 建築物の清掃と環境衛生 / 清掃技術の発達 / 建築物衛生法と登録制度	60分
作業従事者の責任と任務	従事者の自覚 / 作業上の注意事項 / サービス精神とマナー / 団体行動と人間関係 / 個人情報保護法	60分

### 3 2年目以降カリキュラム

研修科目	研修内容	時間
機械器具・資材の使用方法 (床材別)	弾性床材 / 硬性床材 / 繊維床材 / 木質床材 / 繊維床材の特徴 / カーペット床の維持管理 / 最新の清掃技術 必要に応じて実技訓練を行う。	90分
機械器具・資材の使用方法 (場所別)	玄関まわりとロビーの清掃 / 廊下、階段の清掃 / エレベータ、エスカレータの清掃 / 外周、その他の清掃 / 最新の清掃技術 必要に応じて実技訓練を行う。	90分
安全及び衛生	清掃作業の労働災害 / 作業安全のための注意 / 建築物環境や第三者に対する配慮、労働衛生	60分

上記科目は必修、他は以下のカリキュラムから選択する。

建築物の環境衛生行政	建築物衛生法 / 下水道法 / 水質汚濁防止法	60分
作業従事者の責任と任務	1年目カリキュラムの同科目に同じ。	60分
環境問題	廃棄物 / 洗剤や床維持材の廃液 等	60分
最新技術の動向	最新技術の動向	60分